

健康寿命延伸のための「社会健康医学」推進委員会  
研究推進検討部会(第2回) 会議録

日 時	平成 30 年 9 月 7 日 (金) 午後 1 時 10 分から午後 2 時 30 分まで
場 所	グランディエールブケトーカイ 4 階「ワルツ」
出席者 職・氏名	出席委員：6 名（敬称略） 中山健夫、佐古伊康、田中一成、松田文彦、宮田裕章、宮地良樹 ※宮田委員は web による遠隔参加 欠席委員：2 名（敬称略） 山本清二、山本敏博 事務局 県参与 山口重則 健康福祉部長 池田和久 健康福祉部部長代理 藤原学 健康福祉部理事 鈴木宙志 健康福祉部管理局長 前島稔生 健康福祉部理事 土屋厚子 ほか健康福祉部職員
議 題	1 リサーチサポートセンターにおける社会健康医学に関する研究 内容について 2 大学院大学の設置に係る基本構想（素案）について 3 その他
配布資料	議事次第 資料 1 健康寿命延伸のための「社会健康医学」推進委員会研究推進 検討部会委員名簿 資料 2 社会健康医学研究センターについて 資料 3 大学院大学の設置に係る基本構想（素案）  参考資料 文科省科研費研究機関の申請に係る進捗報告 参考資料 社会健康医学シンポジウム開催案内

## 1 審議事項

- (1) リサーチサポートセンターにおける社会健康医学に関する研究内容について
- (2) 大学院大学の設置に係る基本構想（素案）について

## 2 審議内容

山口県参与から、資料 2 により「リサーチサポートセンターからの研究提案書」について、鈴木健康福祉部理事から、資料 3 により「大学院大学の設置に係る基本構想（素案）」について、説明した後、各委員による議論を行った。

- (1) リサーチサポートセンターにおける社会健康医学に関する研究内容について
- 医療ビッグデータについては、将来的に、患者の個別同意を得ながらデータを使うことができれば、民間との連携など事業の可能性が広がる。
  - ゲノムコホート研究の実施に当たっては、東から西まで複数のコホートを立ち上げ、比較・解析できるようにするとともに、将来にわたって継続できるよう、住民団体の力を借りて自律的に運営できる素地のあることが大切。
- (2) 大学院大学の設置に係る基本構想（素案）について
- 医学部の偏在が静岡県医療の大きな問題である。医師を確保することも、大学院大学を作ることの目的の1つ。
  - 優秀で、モチベーションを持っている人を集めるため、県で奨学金を出すことも検討した方がよい。